

現代アートと批評理論 参考文献

【まず入門するには…】

残念ながら、美術批評の理論をきちんとまとめた日本語の入門書・教科書はありません。唯一、入門に使えるとしたら、雑誌『美術手帖』に連載された「美術史を読む、6人の美術史家による6つの方法」というシリーズです。図書館でバックナンバーを見てください。

田中正之「ノーマン・ブライソン 絵画という記号」、『美術手帖』第718号、1996年1月
林道郎「ロザリンド・クラウス モダニズムを超えて」、『美術手帖』第720号、1996年2月
田中正之「T. J. クラーク 絵画とイデオロギー」、『美術手帖』第721号、1996年3月
林道郎「マイケル・フリード 批評と歴史」、『美術手帖』第722号、1996年4月
林道郎「イヴ＝アラン・ボア モデルとしての絵画」、『美術手帖』第724号、1996年5月
田中正之「グリゼルダ・ポロック フェミニズムと美術史」、『美術手帖』第726号、1996年6月

とはいえ、文学批評の理論の入門書はたくさんありますので、それを読むと良いでしょう。美術批評と文学批評には多くの共通点があります。オススメは以下の4冊。

ジョナサン・カラー『文学理論』（「一冊でわかる」シリーズ）荒木映子、富山太佳夫訳、岩波書店、2003年
丹治愛編『批評理論』（「知の教科書」シリーズ）、講談社選書メチエ、2003年
土田知則ほか『現代文学理論——テキスト・読み・世界』（「ワードマップ」シリーズ）、新曜社、1996年
土田知則ほか『文学理論のプラクティス——物語・アイデンティティ・越境』（「ワードマップ」シリーズ）、新曜社、2001年

【さらにもう一歩進むには…】

入門をおえたら、たとえば以下のキーワード集あたりを繙いてみると、理解が深まります。

ロバート・S・ネルソン、リチャード・シフ編『美術史を語る言葉——22の理論と実践』秋庭史典ほか訳、ブリュッケ、2002年
フランク・レントリッキア、トマス・マクローリン編『現代批評理論——22の基本概念』大橋洋一ほか訳、平凡社、1994年
フランク・レントリッキア、トマス・マクローリン編『続・現代批評理論——+6の基本概念』大橋洋一ほか訳、平凡社、2001年

【あとは、作品を見て、批評を読んで、自分でも書いてみて、を積み重ねるべし】